

概要 児童虐待やいじめの防止等により子どもの権利を擁護し、子どもの人権を尊重する社会を構築するとともに、子どもたちの社会性や自主性、公共心を培う。

総合評価 **C** 客観指標評価は横ばいで、市民の生活実感もどちらとも言えないことから、施策の目的はそこそこ達成されていると評価する。今年度、虐待対策強化の取組を行っており、その効果を見守る必要がある。

この施策の客観指標評価

客観指標総合評価: C

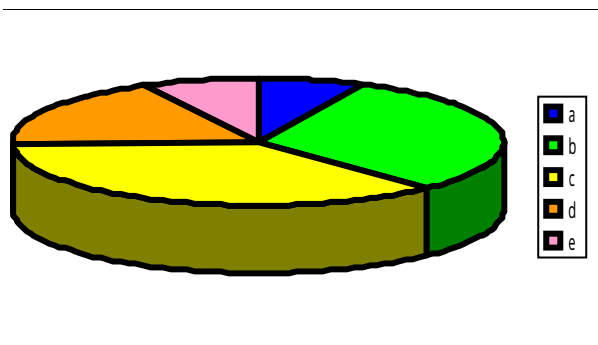
指標名とその前年値、現在値、目標値、達成度

評価

虐待相談に対して速やかに対応(48時間以内)した件数の割合(%)	96	96	100	96.0%	c
子育て支援シンポジウムの参加人数(人)	400	400			c

この施策に関する市民生活実感評価

一人一人の子どもの人格が大切にされ、子どもの権利が守られている社会である。



答a: そう思う	26	7.0%
答b: どちらかというと思う	116	31.2%
答c: どちらとも言えない	135	36.3%
答d: どちらかというと思う 思わない	66	17.7%
答e: そう思わない	29	7.8%
有効回答数	372	
市民生活実感評価		C

<参考> この施策実現のための主な事業

事業名

- 子どもネットワーク運営
- 地域子育て支援ステーション事業
- 子育て支援情報の発信
- 親子ふれあいランドの開催等
- 自立援助ホーム運営補助
- 児童相談所運営